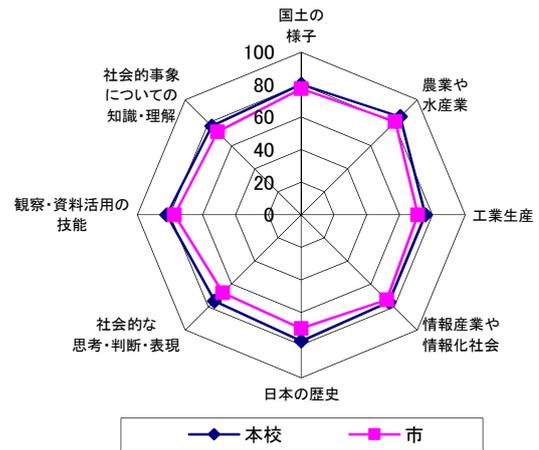


宇都宮市立今泉小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	80.2	77.5	74.0
	農業や水産業	85.4	81.1	73.7
	工業生産	75.6	71.1	73.5
	情報産業や情報化社会	75.6	73.7	63.2
	日本の歴史	77.5	69.7	73.5
観点別	社会的な思考・判断・表現	74.8	67.7	63.1
	観察・資料活用の技能	82.0	77.3	75.5
	社会的な事象についての知識・理解	77.2	72.2	73.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	<p>平均正答率は市の平均より高い。</p> <p>○日本の気候の様子について、説明に当てはまる雨温図と都市の位置を判断する設問では、市平均を5ポイント以上上回った。</p> <p>●日本の周囲の国の国旗を問われる設問では市平均を0.8ポイント下回っており、課題が残る。</p>	<p>・国土の様子を学習する際には、同時に我が国や諸外国には国旗があることを理解させ、それを尊重する態度を養うよう配慮する。</p>
農業や水産業	<p>平均正答率は、市の平均を上回り、また他の領域よりも高い。</p> <p>○日本の食料生産がかかえる課題について資料をもとに考える設問では、市平均より14.7ポイント上回った。</p> <p>●農業で働く人々がかかえる問題について、複数の資料から読み取り考え、表現するという設問では、市平均より1.4ポイント下回った。</p>	<p>・米の生産や日本の食料自給率について正確に資料を読み取ることができているが、資料を活用して自分の言いたいことや問題点などを表現することに課題が見られる。普段の生活の中で食料生産に関心をもたせ、農業や水産業と自分の暮らしが密接にかかわっていることを資料を活用し丁寧に読み取らせていきたい。</p>
工業生産	<p>平均正答率は、市の平均より高い。</p> <p>○●化学工業の製品として4つの内容から正しいものを1つ選んで答える設問の正答率は69.5%で市の正答率を1.6ポイント上回った。その一方で約3割の児童が、残りの選択肢から、同じ誤答を選ぶ傾向が見られるなどの課題も見られた。</p> <p>○工業地帯・工業地域が発展している場所について、資料を読み取って考え、言葉で答える設問の正答率は、81.7%で、市の正答率より7.5ポイント高い。</p>	<p>・身のまわりにある工業製品に目を向け、その製品に関心をもたせるだけでなく、実際に種類別に分類したり、原材料について調べてみたりするなど、様々な視点から学習できるように工夫していく。</p> <p>・今後も引き続き、資料をもとに内容を読み取って答えられるような指導をしていきたい。</p>
情報産業や情報化社会	<p>平均正答率は、市の平均より高い。</p> <p>○資料を読み取り、情報ネットワークの良さを正しく理解している。</p> <p>●身のまわりのメディアに関する設問では、市の平均を9.1ポイント下回っている。表から共通してあてはまる言葉を見つけるのに課題がある。</p>	<p>・情報産業や情報化社会に関する学習において、今後も習い覚えるべき内容と、資料を読み取る活動を更に丁寧に指導していくとともに、身のまわりにあるメディアにもっと関心をもって学習していけるようにする。</p>
日本の歴史	<p>平均正答率は、市の平均より高い。</p> <p>○日本の歴史に関する様々な設問において全体的に市の平均正答率を上回り、よく理解できていた。</p> <p>●大和朝廷による国土の統一の様子について、資料を読み取ったことを記述して表現する設問では、市の平均を上回っているものの35.4%と低かった。</p>	<p>・日本の歴史の学習において、今後も丁寧に指導していくとともに、その時代の主な出来事については、どうしてそのようなことが起きたのかなど、時代の背景や人物の様子などより具体的に出来事を捉え考えていくことができるよう指導していきたい。併せて、資料をもとに読み取ったことを書くなど、書いて表現する活動を授業で取り入れていきたい。</p>